各文構造解説

この冊子の使い方

1つの文について、 【英文】 → 【構造】 → 【解説】 → 【語句】 の順で並んでいる。

- 1. 【英文】を音読する。構造と内容が理解できれば、次の【英文】に進んでよい。理解できなければ、
- 2. 【構造】を音読する。文の構造と、まとまりごとの訳(直訳)を確認する。さらに、必要に応じて、
- 3. 【解説】を読む。直訳を咀嚼して、要するにどういうことを言っているのか、内容の理解を試みる。 この時点で理解できなければ、「解答・解説」の日本語訳(意訳)で内容を確認する。
- 4. 理解した内容を念頭に、構造と内容が理解できるまで、繰り返し【英文】と【構造】を音読する。
- 5. 【語句】を音読して、意味を確認する。

最後にもう一度、できれば二度三度、本文英文を、できるだけ速く、頭から意味をとりながら読むこと。

凡例および注意点

凡例:

1 = 大問番号
1 = 段落番号
0 = 文番号

構造 = 【構造】

主 = 主語 動 = 動詞 目 = 目的語 補·名 = 補語となる名詞

|副 = 副詞 | 関代 = 関係代名詞 | 過分 = 過去分詞 など

「 」 = 直前部分までの訳(直訳中心)

[] / { } / [[]] など = 注意を要する、句や節などの意味のまとまり

*1 = 【解説】 とくに注意を要する箇所の指摘および解説

|暗例| = 例文。暗唱できるようになることを強くお勧めする

() = 省略可、あるいは補足・別表現

[] = 直前の語句との入れ換え可

〈 〉 = 重要な用語、あるいは構文・イディオム

語句 = 【語句】

[|] = 発音。左側が発音記号。右側が発音時の目安となるカタカナ表記で、ゴシック体はアクセント

⇒ = 派生語・反意語 など

注意点:

【構造】と【解説】は、既出表現や構造が平易な英文については、簡略化、あるいは省略することがある

1

- 1 1 Once in a while a special person comes along whose work transforms the lives of many.
- 開造 副 Once in a while 「ときどき」 主 a special person 「特別な人が」 動 comes along 「現れる」 [関代 *1 whose work 「その人の仕事が」 動 transforms 「変える」 目 the lives of *2 many]. 「多くの人々の生活を」
- *1: 関係代名詞所有格の whose で、先行詞は a special person。 暗例 the house whose roof has been damaged 「屋根が傷んだ家 |
- *2:前置詞 of に続くので必ず名詞(前置詞の目的語)。ここでは people の省略。
- **語句** once in a while 「ときどき」、come along 「現れる、やって くる」、transform [trænsfó:rm | トゥランスフォーム] 動「(形を) 変える」、lives [láivs | ライヴス] 名「生活 (life の複数形)」
- **2** One such person was the computer engineer, Grace Hopper.
- 3 Hopper began her work with computers in the 1950s. 横道 主 Hopper 動 began 目 her work 「ホッパーは自分の仕事を始めた」 副 with computers 「コンピューターを伴って」 副 in the 1950s. 「1950 年代に」
- 4 These were the earliest years of the computer age.

 | 注 These 「これらは」 動 were | 補・名 the earliest years of the computer age. 「コンピューター時代の初期の年々だった」
 | 語句 | earliest [á:rliəst | アーリエスト] | 形 「最も初期の」⇒ early [á:rli | アーリ] | 形 「早い」 | 圖 「早く」
- At this time typical computers could only be used by highly-trained people since the instructions for these machines had to be written in the form of difficult mathematics.
- **語句** typical [típikəl | ティピカゥ] | 肥「典型的な」、highlytrained [háili-tréind | ハイリトゥレインド] | 肥「高度に訓練された」、instruction [instrákʃən | インストゥラクション] | 名「取扱説明書、指示」、form [f5:rm | フォーム] | 名「形」
- **6** Hopper wondered if it would be possible to write a computer program using English words instead of complex symbols.
- | 注 | Hopper | 動 ** wondered 「ホッパーは思った」 | 目 [接 if 「~かどうか」 | 形主 ** it 「(訳さない)」 would be possible 「可能かもしれない」 | 真主 to write a computer program 「コンピュータープログラムを書くことが」 | 現分 ** using English words 「英単語を使って」 instead of complex symbols]. 「複合的な記号

の代わりに」

- *1: wonder if $\sim \lceil \sim h \lor h \lor h \lor h$ (知りたい) と思う」。if 以降は動詞 wonder の目的語(名詞節)となる。
- *2: 形式主語のit で、真主語は名詞的用法の不定詞 to write 以降。
- *3: using は、前置詞 by 「~によって」が省略された形(動名詞)と解釈すればわかりやすいが、ここでは前置詞がないので現在分詞の副詞用法と解釈した。 暗例 I had trouble reading this book. 「この本を読むのはたいへんだった。」(※ reading は動名詞)
- **語句** possible [pásəbl | パスィブゥ] 形「可能な、ありえる」、instead of ~「~の代わりに」、complex [kampléks | カムブレクス] 形「複合的な」、symbol [símbəl | スィムボゥ] 名「記号、符号」
- If so, the computer would become much easier to
- 構造 副 [If *1 so],「もしそうなら」 主 the computer 動 *2 would become 「コンピューターはなるだろうに」 補・形 much easier *3 to use.「使うために、はるかに簡単に」
- *1:この so「そう」は副詞で、前文の内容を受ける代用語。具体的にはit would be possible ~ instead of complex symbolsを指す。
 *2:仮定法過去を表す助動詞 would。この文全体は、前文の主節 Hopper wonderedの目的語としての流れを受けていると解釈する。
 *3:形容詞 much easier を修飾する、不定詞の副詞的用法。
- **8** As a result, she worked to create one of the first computer languages.
- **調 As a result,**「結果として」 **she worked**「彼女は働いた」 **副 [to create**「作り出すために」 **目 one of the first computer languages].**「最初のコンピューター言語の一つを」
- **語句** as a result 「結果として」、create [kriéit | クリエイト] 動
 「作り出す、生み出す」
- **9** This allowed computers to be easily used by many more people and was one development leading to the widespread adoption of computers beyond the scientific community.
- | 注 This 「このことは」 動 *1 allowed 「許した」 | [computers to be easily used] 「コンピューターが簡単に使われることを」 副 by many more people 「より多くの人々によって」 and 「そして」 動 was 補・名 [one development 「一つの進歩だった」 現分 *2 leading to the widespread adoption of computers 「コンピューターの広範な採用に導く」 副 beyond the scientific community]. 「科学の共同体を超えて」
- *1: allow O to do 「Oが~することを許す」。目的語のOは、不 定詞 to do の〈意味上の主語〉を表す。
- *2: leading は名詞 one development を後ろから修飾(後置修飾) する現在分詞。
- 語句 allow [əláu | アラウ] O to do 「O が~することを許す」、development [divéləpmənt | デヴェロブメント] 名「発展、開発」、lead to ~「~に導く」、widespread [wáidspred | ワイドスプレド] 形「広範な」、adoption [ədápʃən | アダブション] 名「採用」⇒ adopt [ədápt | アダプト] 動「採用する」、beyond [bijánd | ビヤンド] 前「~を超えて」、scientific [saiəntífik | サイエンティフィク] 形「科学の」、community [kəmjú:nəti | コミューニティ] 名「共同体」
- **2 1** Grace Hopper's interest in machines such as computers began at an early age.

- 構造 主 [Grace Hopper's interest in machines 「グレイス・ホッパーの機械への関心は」 such as computers] 「コンピューターのような」 動 began 「始まった」 副 at an early age. 「早い歳に」
- **語句** interest [intərəst | インタレスト] in ~「~への興味、関心」 **2** Even as a young child, she was curious about how

things worked.

- 構造 副 Even「~でさえ」 前 **1 as a young child,「小さな子 どもの時」 主 she 動 was 補・形 curious about 「彼女は~を 知りたがった」 目 **2 [how things worked]. 「ものがどのように動いたか(ということ)|
- *1:この as は、前置詞と解釈してもいいし、as (she was) a young child のような省略として接続詞と解釈してもいい。どちらも「~の時」と訳せる。
- *2:前置詞に続く名詞を〈前置詞の目的語〉という。ここでは how things worked は名詞節。
- **語句** be curious about ~ 「~を知りたがる」⇒ curious [kjúəriəs | キュアリアス] 形 「好奇心のある、興味がある」
- 3 For example, one day her mother found that young Grace was trying to take apart all of the clocks in their home.
- | 翻 For example, 「例えば」 副 one day 「ある日」 主 her mother 動 found 「彼女の母親は気づいた」 目 [接 that 「~いうことに」 主 young Grace 「幼いグレイスが」 動 *1 was trying to take apart 「分解しようとしていた」 目 all of the clocks in their home]. 「家の中にあるすべての時計を」
- *1: 本来、動詞は was trying で、to take apart はその目的語(to 不定詞の名詞的用法)となるが、本書では実践的観点から原則として、try to do や want to do などの理解しやすい意味のまとまりは 1 つの動詞として扱う。
- 語句 take apart「分解する、徹底的に調べる」
- 4 The problem, of course, was that Grace was not able to put them back together again!
- | 選達 | 主 The problem, 「問題は」 | 圆 of course, 「もちろん」 | 動 was 「~だった」 | 補・名 [接 that 「~ということ」 | 主 Grace 動 was not able to put them back together 「グレイスはそれらを組み立て直せなかった」 | 圖 again |! 「二度と」
- **語句** put ~ back together「(ばらばらになったものをもと通りに) 組み立て直す」
- **5** Recognizing the child's talent, her mother did not get angry, but offered her daughter a compromise: She could have *one* of the family clocks for her experiments.
- | 分構 *1 [Recognizing | 目 the child's talent], 「子どもの 才能を認識して」 her mother did *2 not get angry, 「彼女の 母親は怒らなかった」 接 but 「しかし」 offered her daughter a compromise: 「自分の娘に妥協案を提示した」 主 She 動 could have 「彼女は持つことができた」 目 one of the family clocks 「家族の時計の 1 つを」 副 for her experiments. 「彼女の実験のために」
- *1:分詞構文は、従属する副詞節において、主節と同じ主語と接続 詞を省略し、分詞形にした動詞から始める文語的表現。接続詞の 意味は、主節の内容との関係から類推する。ここでは、主語は her mother で、接続詞は理由を表す as あたりと考えればよい。
- *2: not A but B \lceil A ではなく B \rceil 。 ここでは A \triangleright B \bowtie get \triangleright offer の動詞以降。

- ##O recognize [rékəgnaiz | レコグナイズ] 動「認識する」、
 talent [tælənt | タレント] 名「才能」、offer [5:fər | オーファ]
 動「提示する」、compromise [kámprəmaiz | カムブロマイズ] 名
 「妥協」、experiment [ikspérəmənt | イクスペリメント] 名「実験」
- **6** Evidently, her mother's support paid off because later Grace Hopper became an excellent student in science and mathematics.
- **7** She eventually earned a Ph.D., the most advanced degree, in mathematics from Yale University, one of the top universities in the world.
- 構造 主 She 副 eventually 動 earned 「彼女は結局、得た」 目 *1 [a Ph.D., the most advanced degree],「博士号、つまり もっとも上級の学位を」 副 in mathematics 「数学において」 副 from Yale University, one of the top universities in the world. 「イェール大学、つまり世界有数の大学の1つから」
- *1:コンマに続けて、直前の内容や名詞を追加説明することがある。ここでは、a Ph.D. が何かを、the most advanced degree と追加説明している。このときのコンマを〈同格のコンマ〉といい、「つまり、すなわち」のように訳せばよい。なお、Yale Universityも同様に追加説明している。
- **語句** eventually [ivéntʃuəli | イヴェンチュァリ] 副「結局」、earn [á:rn | アーン] 動「得る、稼ぐ」、Ph.D.「博士号(= Doctor of Philosophy の略語)」、advanced [ədvénst | アドヴァンスト] 形「上級の、進んだ」、degree [digrí: | ディグリー] 名「学位、程度」
- Besides making computers easier to use, Hopper fostered change in people's lives in another way.
- | The state of the series as a series of the series of t
- **語句** besides [bisáiz | ビサイズ] 前 「~に加えて」、foster [fɔ́:stər | フォースタ] 動 「大事に育てる」
- 2 Until that time, computer science and, indeed, all engineering was almost exclusively a profession of men.
- | Image: Book | Book